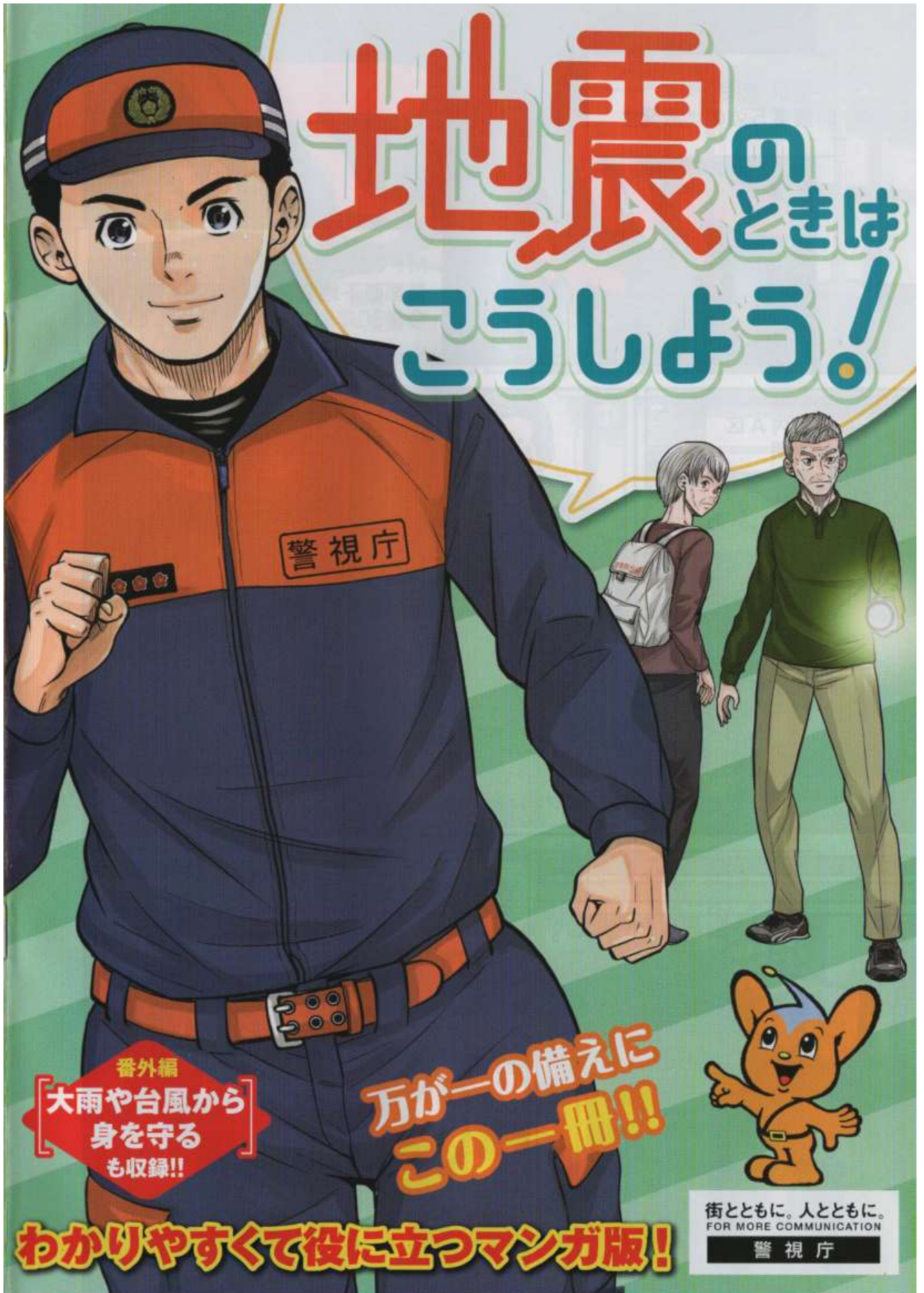


地震のときは こうしよう!



番外編
[大雨や台風から
身を守る
も収録!!]

万が一の備えに
この一冊!!

わかりやすく役に立つマンガ版!

街とともに。人とともに。
FOR MORE COMMUNICATION
警視庁

東京 未明
震度5強の地震発生



M(マグニチュード)7クラスの
首都直下地震が起こる可能性は
今後30年間で70%と言われている



都内 A 区
早朝

ふあー



地震のせいで
よく眠れなかったわ!



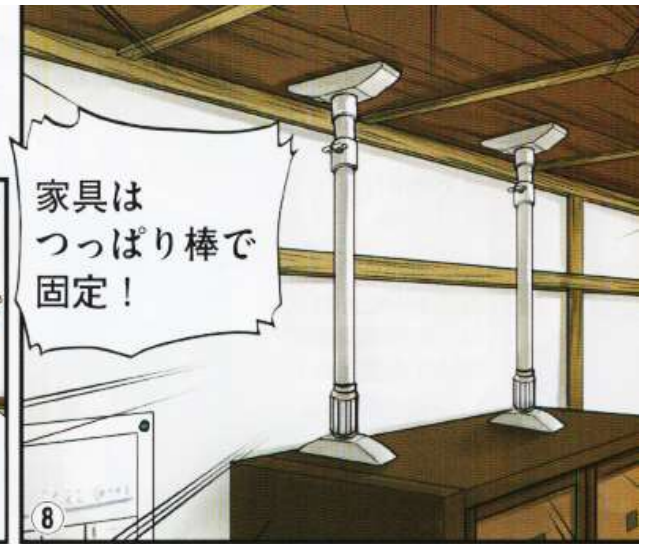
怖かったけど
無事でよかった
ですよ



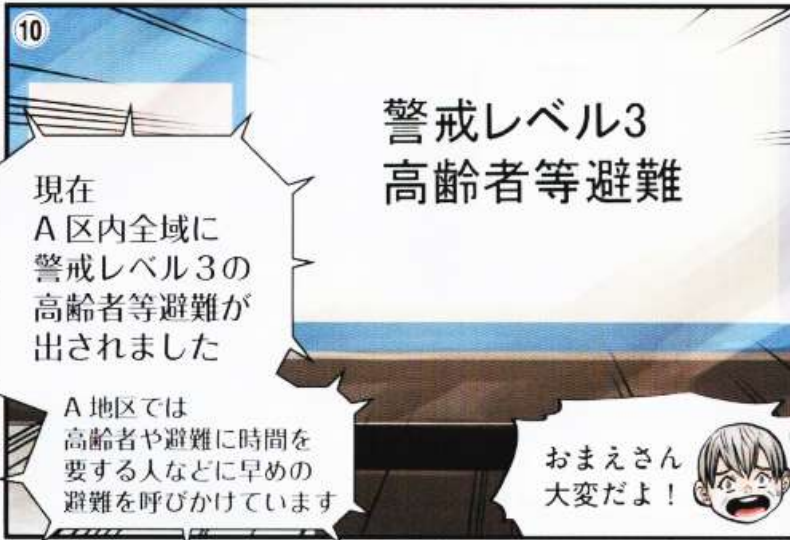
じいじ
おはよー!



たまたま
帰省したら
大きな地震で
ビックリしたわ







※警戒レベルについては20ページ参照







もしもし
おとうさん？

大丈夫？
いまニュースで
警戒レベル5の
緊急安全確保が
出たから心配で

もう避難所に
いるんでしょ？



良子か？
ダメだ
停電してて…

うそ？
まだ家に
いるの？



おい
いまから
逃げるぞ！

ダメよ！



もう外に
出るのは
危険よ！

嵐の中だし
足元だって
暗くて見えないわ！

じゃあ
どうしろって…

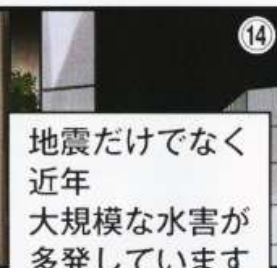


おまえさん！
み水だよー？

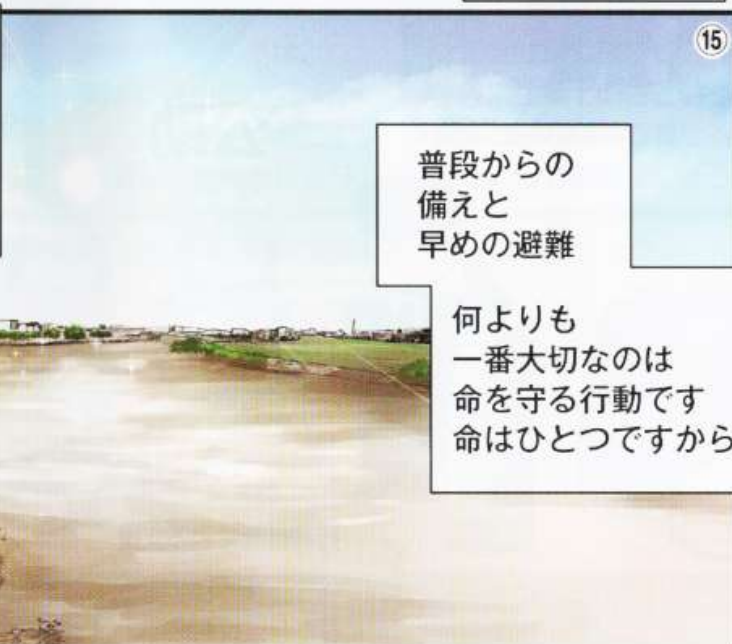


川が
氾濫
したのか!?





「自分だけは大丈夫」
「あの川は
氾濫したことがない」
などの油断は命に
かかります



普段からの
備えと
早めの避難

何よりも
一番大切なのは
命を守る行動です
命はひとつですから!!

【地震が起きるその前に】

関東大震災は、2023（令和5）年9月1日、発生から100年を迎えます。

1923（大正12）年9月1日午前11時58分、近代化した首都圏を襲った巨大地震は、マグニチュード7.9と推定され、南関東から東海地域に及ぶ広い範囲で、死者・行方不明者約10万5千人、建物全壊約10万9千棟、建物焼失約21万2千棟の甚大な被害（※）となりました。

私たちは、歴史を顧み、先人の経験を学び、今後「30年以内に70%」の確率で発生すると言われている首都直下地震やその他の大規模災害に対して、「ふだんの備え」をしていくことが大切です。

いざ、大地震が発生したときは、警察などの行政機関による「公助」だけでは対応ができません。一人一人が自分の命を守る「自助」、町会や自治会、そして企業などの近くにいる人同士が助け合う「共助」が不可欠となります。

このパンフレットは、皆さんが、いざという時に活用できるようまとめたものです。

是非、あなたの家族、周囲の人たちの防災対策に役立ててください。

※参考資料「1923関東大震災報告書【第1編】」中央防災会議 災害教訓の継承に関する専門調査会





地震に対するふだんの備え

わが家の防災対策



★屋内だけでなく、建物や塀等に、ひびや破損がないか確認し、必要があれば補強しておきましょう。

非常持ち出し品の準備

飲料水と食糧は、最低3日分用意しておきましょう。

非常持ち出し品は、両手が自由になるリュックサック等に準備しておきましょう。

貴重品は別に保管し、盗難に注意！いざという時、家族の誰もが持ち出せるようにしておきましょう。

★飲料水や食糧の賞味期限や電池の使用期限等は定期的に確認をしましょう。





地震に対するふだんの備え

家族や地域の人とする備え



※「災害用伝言ダイヤル」に関しては裏表紙参照

わが家で防災会議

自宅や職場の**避難場所**等を事前に確認し、
家族が離れ離れになった際の**集合場所**や、
連絡を取り合う方法を確認しておきましょう。

避難方法や経路を
具体的に**話し合い**、実際に歩いておきましょう。

ケガ人が出た時、
どこにどうやって
連れて行けばよいのか
考えておきましょう。

